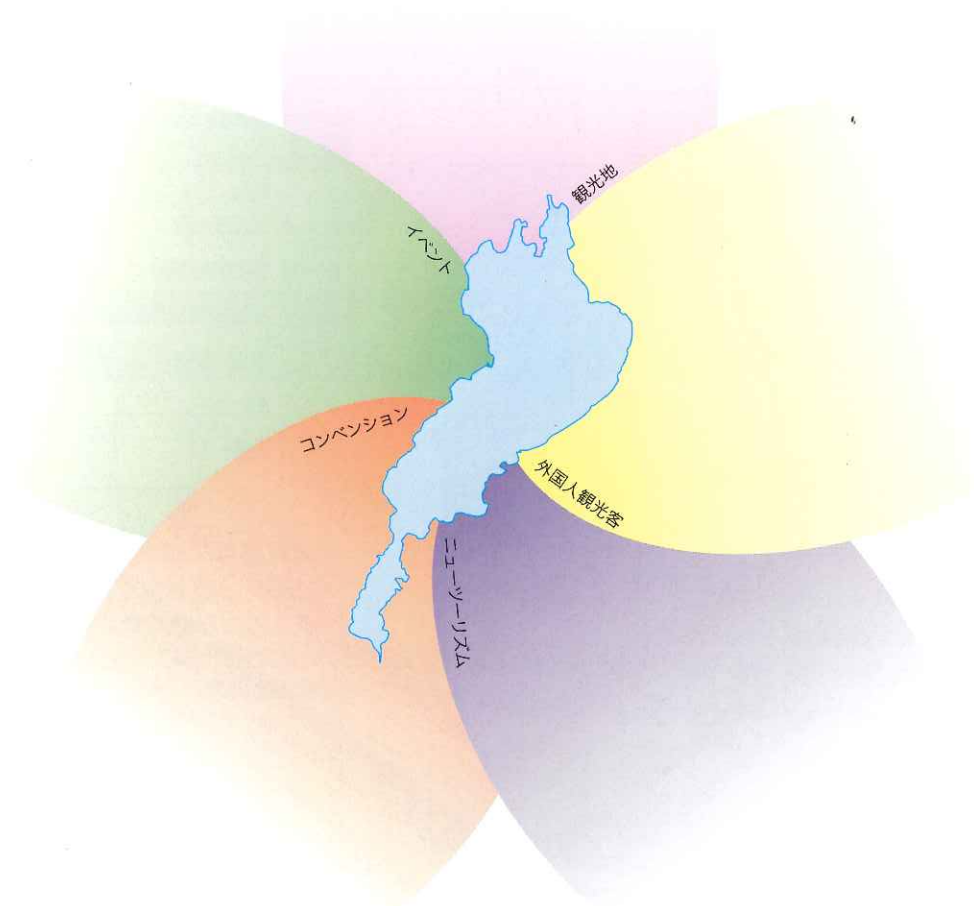


平成22年 滋賀県観光動態調査

概要版

平成23年3月

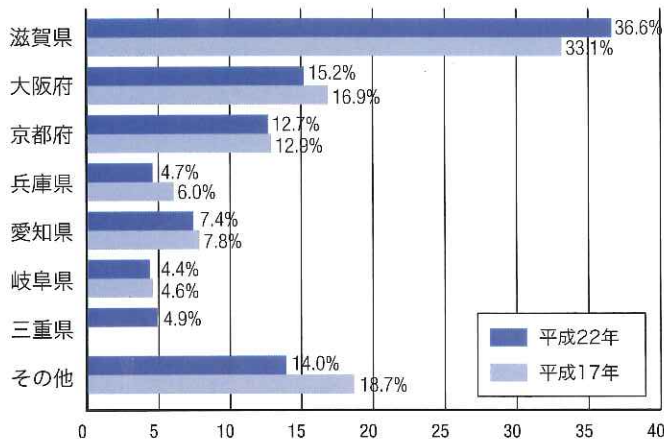


1

観光動態調査結果の概要

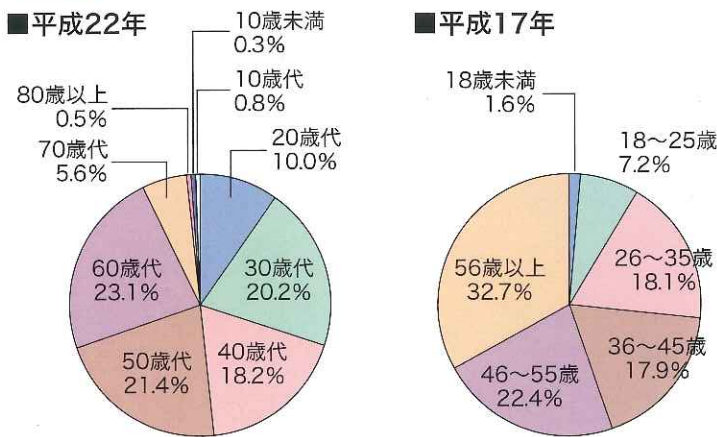
- ▶ 県外は大阪・京都・愛知など近畿・中部北陸からの観光客で、自家用車での来訪が中心。多様な年代が訪れている。
- ▶ 県外客比率の高い観光地は、比叡山延暦寺、彦根城など。

居住地



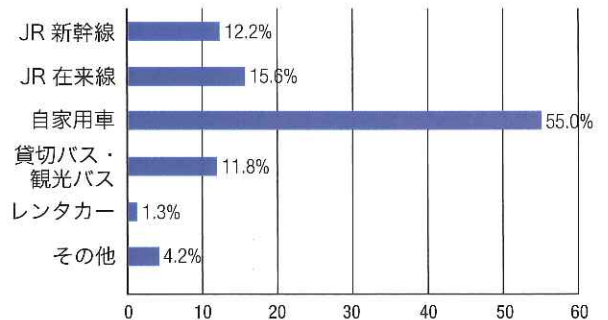
- 平成17年に比べ、県内の観光客が3.5%増えています。
- 県外客は、大阪府・京都府・愛知県など近畿・中部北陸からの観光客が9割超となっています。

年齢



- 平成17年が46歳以上の中高年層の比率が比較的高いのに対して、本調査では30歳代から60歳代の比率が高くそれぞれ20%前後となっています。

滋賀県までの利用交通機関



- 滋賀県までの利用交通機関は、自家用車が55.0%と最も多く、次いで「JR在来線」「JR新幹線」が合わせて27.8%となっています。

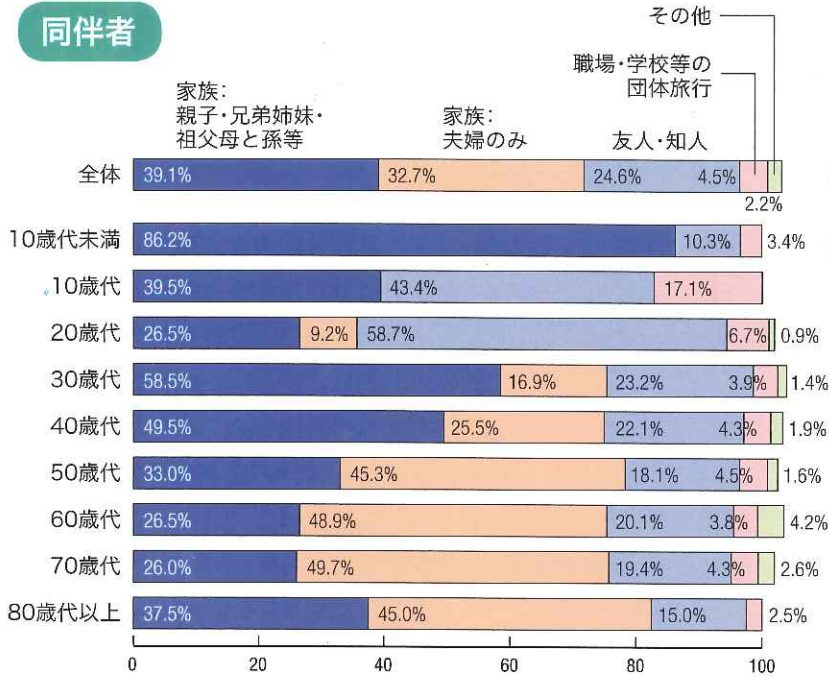
県外客比率の高い観光地トップ5

	全体	県外客	県内客
比叡山延暦寺	100%	91.8%	8.2%
彦根城	100%	91.8%	8.2%
夢京橋キャッスルロード	100%	87.5%	12.5%
奥伊吹スキー場	100%	85.0%	15.0%
渡岸寺	100%	82.9%	17.1%

本文中のアンケート分析での単純集計やクロス集計は、回答者数ベースのカウントを行っています。よって、設問が複数回答の場合は選択肢の回答率の合計が100%に一致しない場合もあります。また、回答率の端数は四捨五入しています。

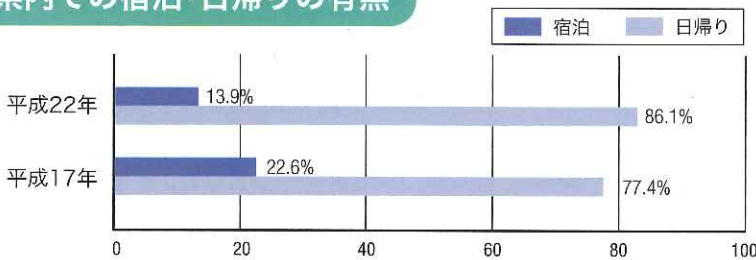
- ▶ 日帰り客が8割、近隣からの旅行が中心。
- ▶ 観光目的は「自然の風景を見る」「神社仏閣・旧跡」など、癒し・憩い・歴史文化が人気。
- ▶ 旅行人数は平均で4.3人、家族、友人・知人との旅行が多い。

同伴者



- 旅行人数は平均で4.3人、同伴者は、全体では、家族、友人・知人が多くなっています。
- 年齢別には、10歳代・20歳代は「友人・知人」、30歳代・40歳代は「家族：(親子・兄弟姉妹・祖父母と孫等)」、50歳代以上は「家族：(夫婦のみ)」の旅行が多くなっています。

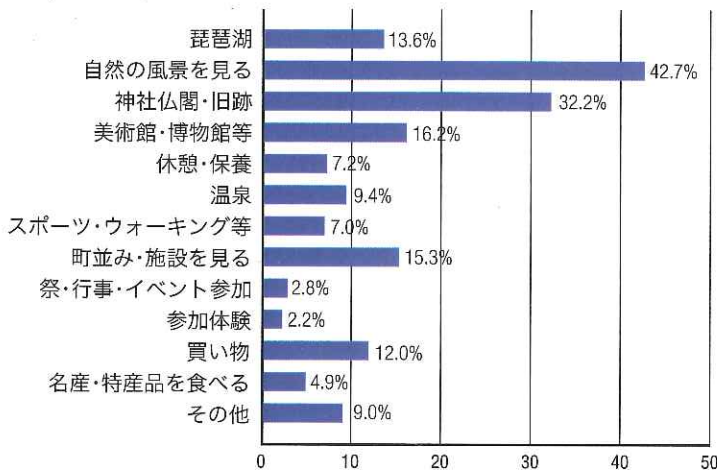
県内での宿泊・日帰りの有無



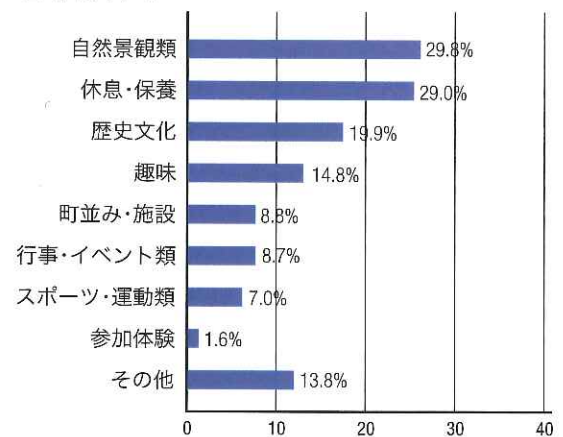
- 平成17年に比べ、日帰り旅行の比率が8.7%増えています。
- 県内で宿泊する人は宿泊客のうちの77.9%で、そのうち88.3%が「1泊」となっています。

観光目的

■平成22年



■平成17年

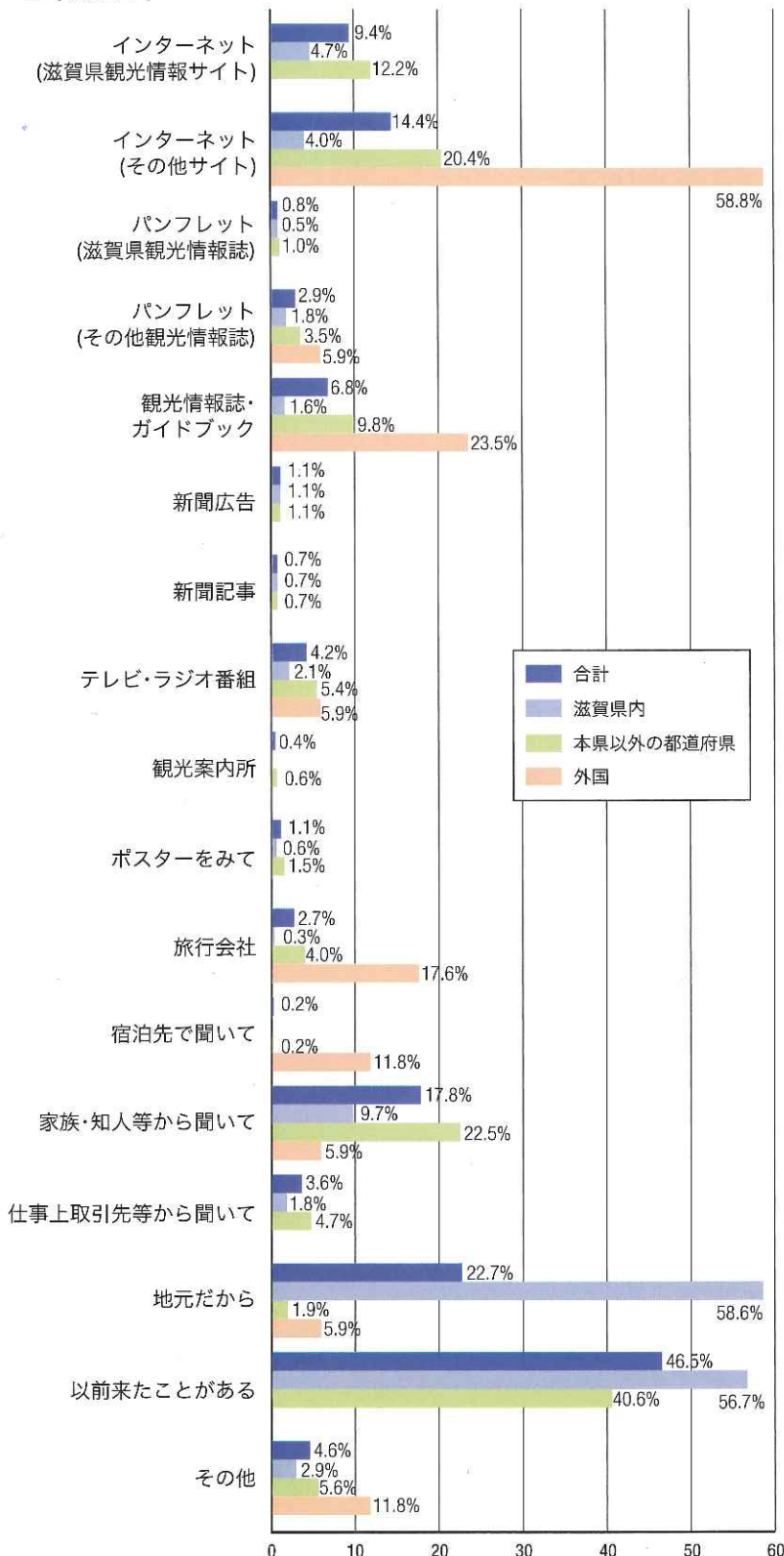


- 観光目的について、平成17年調査結果では「自然景観類」「休息・保養」「歴史文化」などの比率が高くなっています。
- 一方、平成22年調査結果では「自然の風景を見る」「神社仏閣・旧跡」の比率が高くなっています。また「琵琶湖」と「自然の風景を見る」とで回答比率は56.3%、「神社仏閣・旧跡」「美術館・博物館等」とで48.4%となり、自然景観類や歴史文化が人気となっています。

- ▶ 県内客、県外客とも約半数がリピーター。
- ▶ 旅行情報の入手について、県内客は「地元だから」「以前来たことがある」。
- ▶ 県外客は「以前来たことがある」「家族・知人等から聞いて」「インターネット」。
- ▶ 外国客は「インターネット」「観光情報誌・ガイドブック」「旅行会社」。

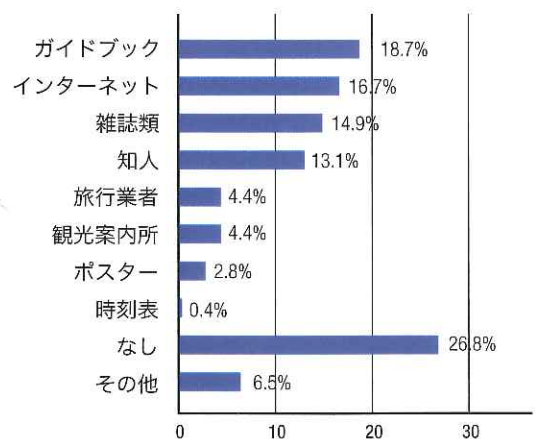
旅行情報の入手

■平成22年



- 「以前来たことがある」と回答したのは、県内客 56.7%、県外客 40.6%で、県内客、県外客とも約半数がリピーターです。
- 県内客は「地元だから」「以前来たことがある」、県外客は「以前来たことがある」「家族・知人等から聞いて」「インターネット」、外国客は「インターネット（その他サイト）」「観光情報誌・ガイドブック」「旅行会社」の回答比率が高くなっています。

■平成17年

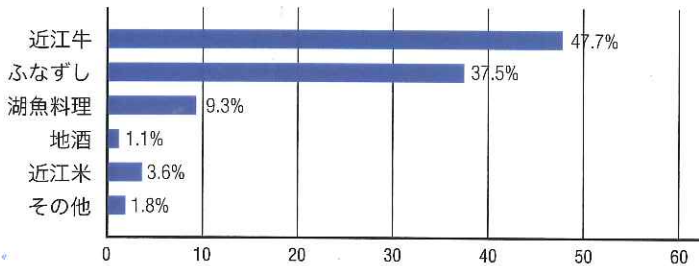


- 旅行情報の入手について、平成17年調査結果では、「ガイドブック」「雑誌類」が合わせて33.6%となっていますが、平成22年調査では「観光情報誌・ガイドブック」「パンフレット」は10.5%と利用割合は大きく減少しています。

▶特産品:思い浮かぶものは、近江牛、ふなずし。

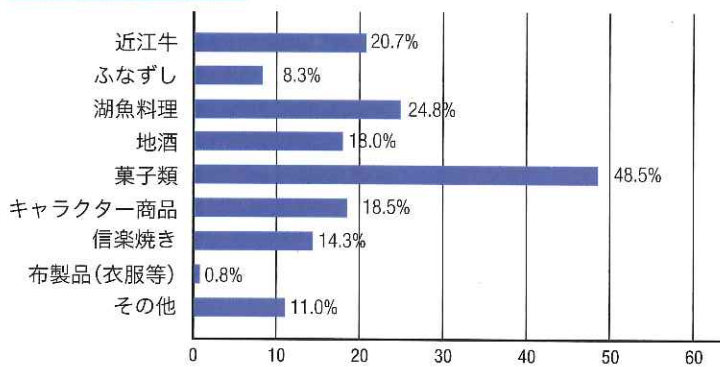
▶土産品:購入したものは菓子類が最も多い。湖魚料理・近江牛なども人気。

思い浮かぶ特産品



●滋賀県の特産品で思い浮かぶものとして、「近江牛」「ふなずし」の回答が多くなっています。

購入した土産品

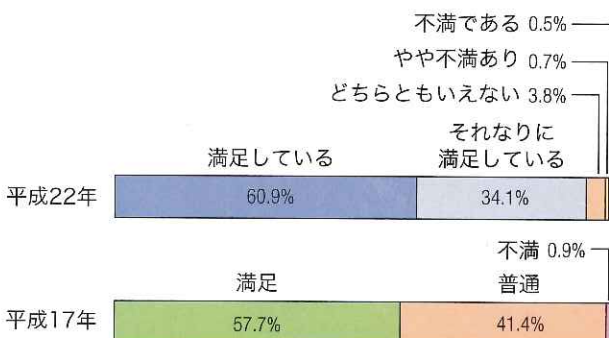
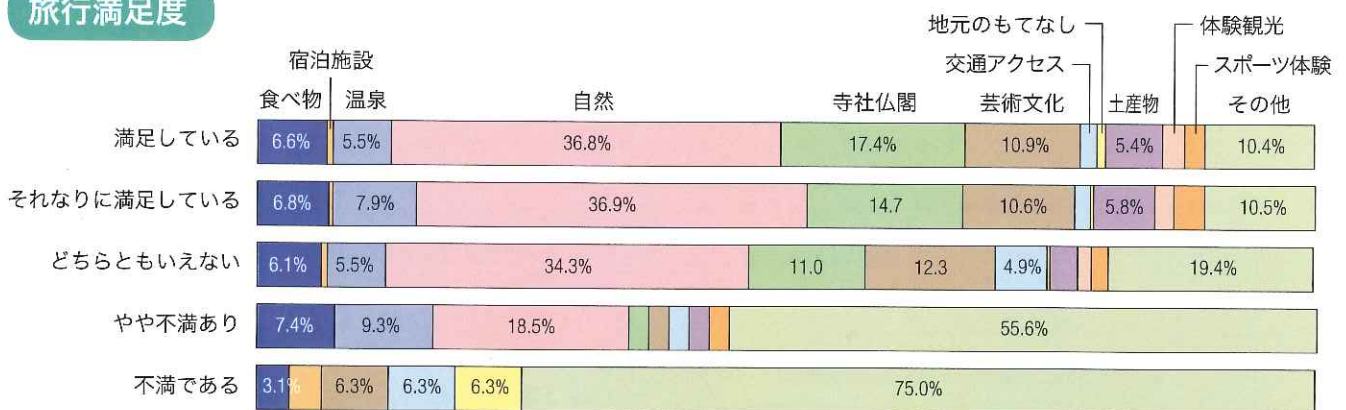


●購入した土産品は、「菓子類」が最も多く、「湖魚料理」「近江牛」「キャラクター商品」「地酒」「信楽焼き」の順となっています。

▶旅行の満足度は、満足・それなりに満足が95%:特に外国客の満足度が高い。

▶理由は自然、寺社仏閣、芸術文化など。

旅行満足度



●旅行の満足度について、「満足している・それなりに満足している」と回答した割合は95.0%です。なお、平成17年調査結果では「満足」が57.7%となっています。

●「満足している」と回答した割合は、県内客55.0%、県外客64.3%、外国客70.6%です。

●「満足している・それなりに満足している」の理由は「自然」「寺社仏閣」「芸術文化」などの回答比率が高くなっています。

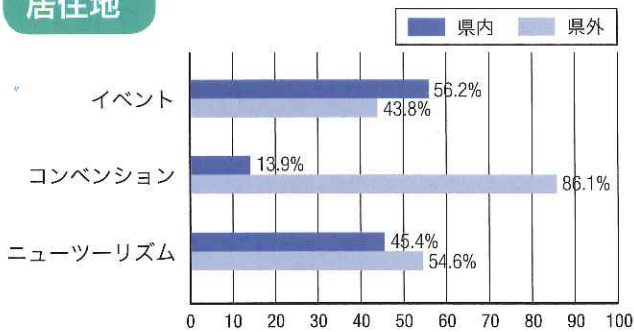
2

イベント調査、コンベンション調査、 ニューツーリズム調査結果の概要

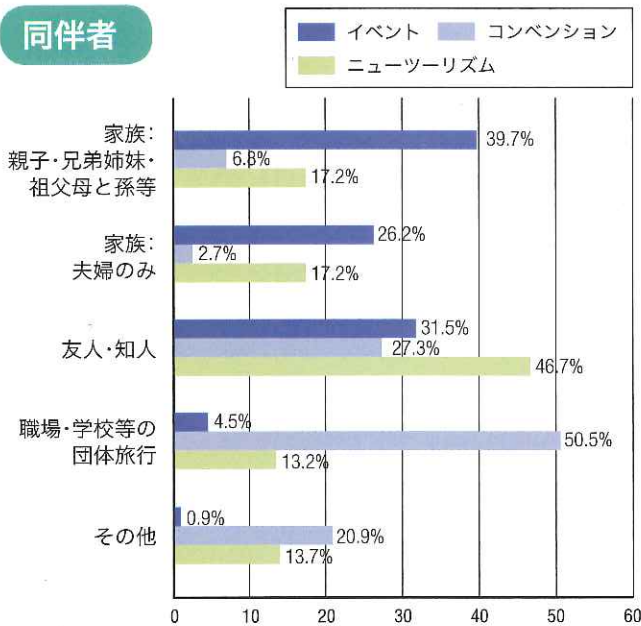
- ▶ イベント、ニューツーリズムとも、参加回数は、半数が「初めて」と回答。
- ▶ イベント、ニューツーリズムともシニア(60歳代以上)の参加者が多い。
- ▶ コンベンションは、県外客・宿泊客が多いが、「観光した」と回答した人は13.7%。

※ニューツーリズムとは、旅行先での人や自然との触れ合いをテーマとする新しいタイプの旅行をいいます。

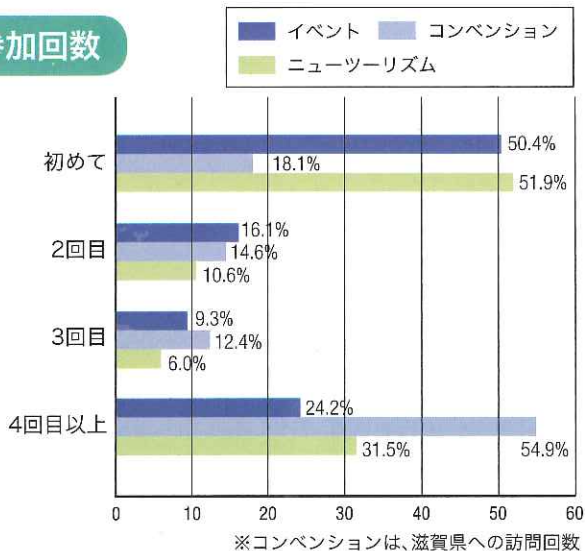
居住地



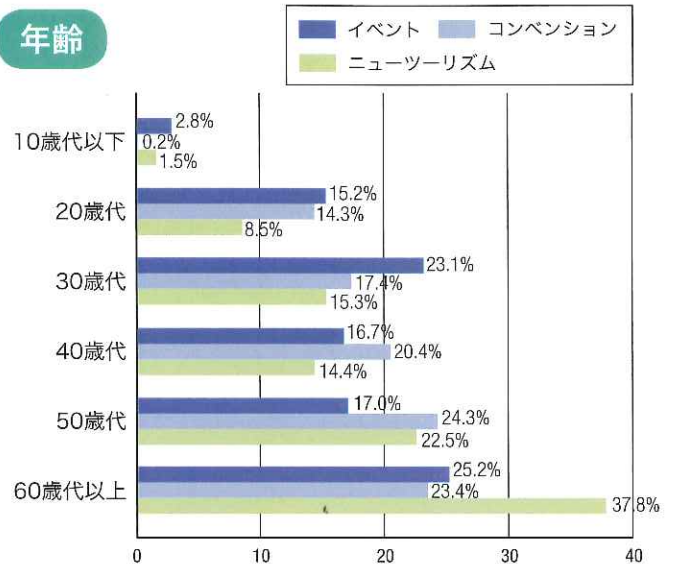
同伴者



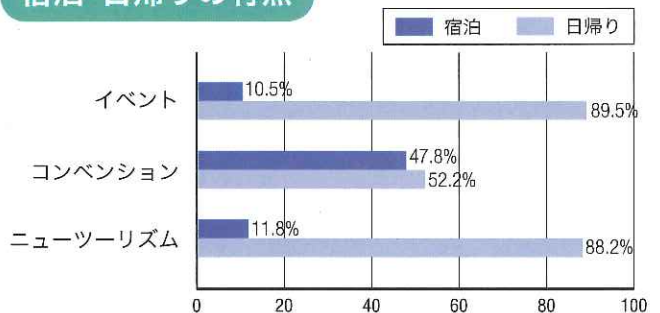
参加回数



年齢



宿泊・日帰りの有無



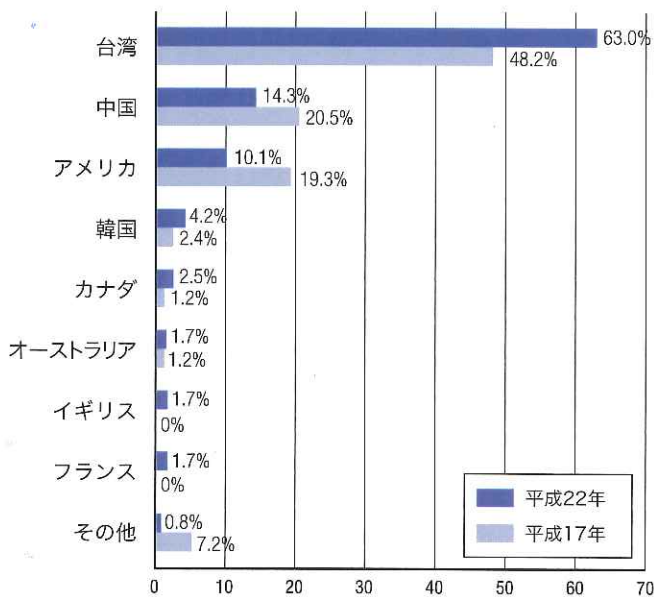
- イベントは県内客の比率が高く、コンベンション・ニューツーリズムは県外客の比率が高くなっています。
- イベントは「30歳代」と「60歳代以上」、コンベンションは「50歳代」と「60歳代以上」、ニューツーリズムは「60歳代以上」が多くなっています。
- 同伴者について、イベントは「家族」、コンベンションは「職場・学校等の団体旅行」、ニューツーリズムは「友人・知人」が多くなっています。
- イベント、ニューツーリズムは約9割が「日帰り」、コンベンションは「宿泊」と「日帰り」が半数となっています。
- イベント、ニューツーリズムとも、参加回数は、半数が「初めて」となっています。
- コンベンション調査では、滋賀県への訪問回数は「4回目以上」が半数を超えています。
- なお、コンベンション参加者のうち、「観光した」と回答した人は13.7%となっています。

3

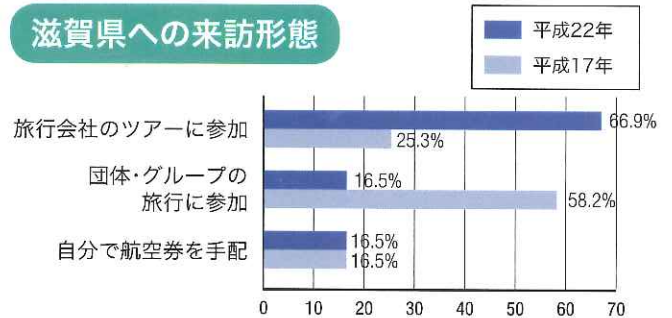
外国人観光客調査結果の概要

- ▶台湾・中国・アメリカなどからの旅行客が多い。
- ▶ビジネス目的や観光目的の団体・グループ旅行から、観光目的のツアー旅行へと変化。
- ▶滋賀県への来訪は「初めて」が8割。
- ▶印象に残ったのは、寺社仏閣・食べ物・自然・宿泊施設など。

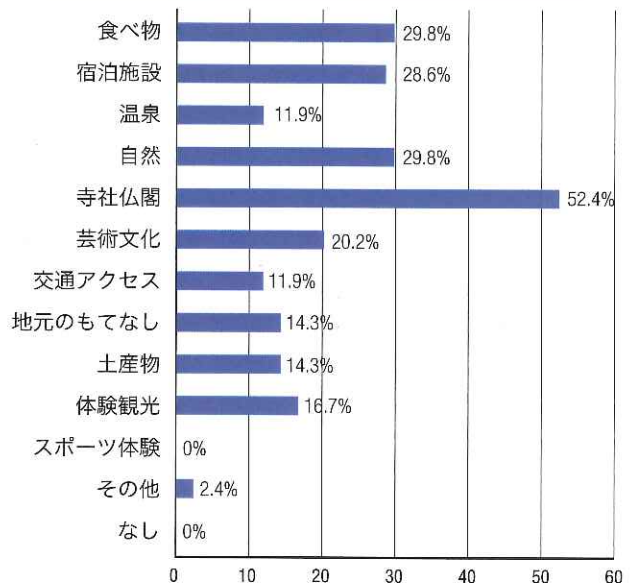
居住地



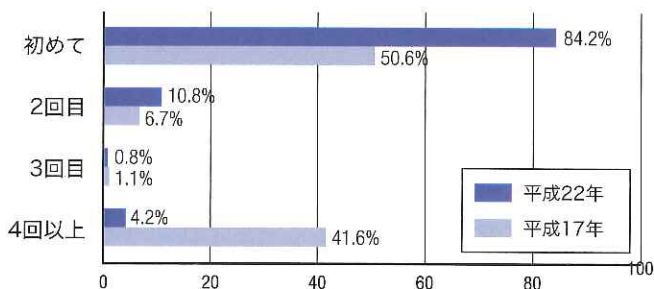
滋賀県への来訪形態



滋賀県に関する印象に残った良いもの



滋賀県への来訪回数



- 台湾・中国・アメリカなどからの外国人観光客が多くなっています。
平成17年調査結果に比べて、特に台湾からの観光客の割合が多くなっています。
- 滋賀県への来訪形態は、平成17年調査結果では「団体・グループの旅行に参加」が最も多くなっていますが、平成22年調査結果では「旅行会社のツアーに参加」が最も多くなっています。
※日本への来訪目的について、平成17年調査結果では「ビジネス」「ビジネス兼観光」目的が46.1%、「観光」目的が53.9%でしたが、平成22年調査結果では「観光」目的が92.9%となっています。(無回答者を除いた割合)
- 滋賀県への来訪回数は、「初めて」が84.2%で、平成17年調査結果の50.6%を大きく上回っています。
- 滋賀県に関する印象に残った良いものは、「寺社仏閣」「食べ物」「自然」「宿泊施設」などの回答が多くなっています。